



ハジメテヒラク

こまつあやこ作 こうだんしゃ 講談社

わたしは綿野あみ。小学生のとき、仲間外れにされたことがきっかけで、脳内実況をするようになった。周りを観察して心のなかで実況する。一歩引いて眺める視線が楽しくて癖になった。中学一年の今でも続けている。中学で、生け花部に勢いで入部。夏休みに、お世話になっていた花屋が閉店することを、生け花部史上初、文化祭での入賞を目標し、わたしの実況で生け花ショーをすることに。「生け花ショー、ハジメテヒラクへようこそ！」

